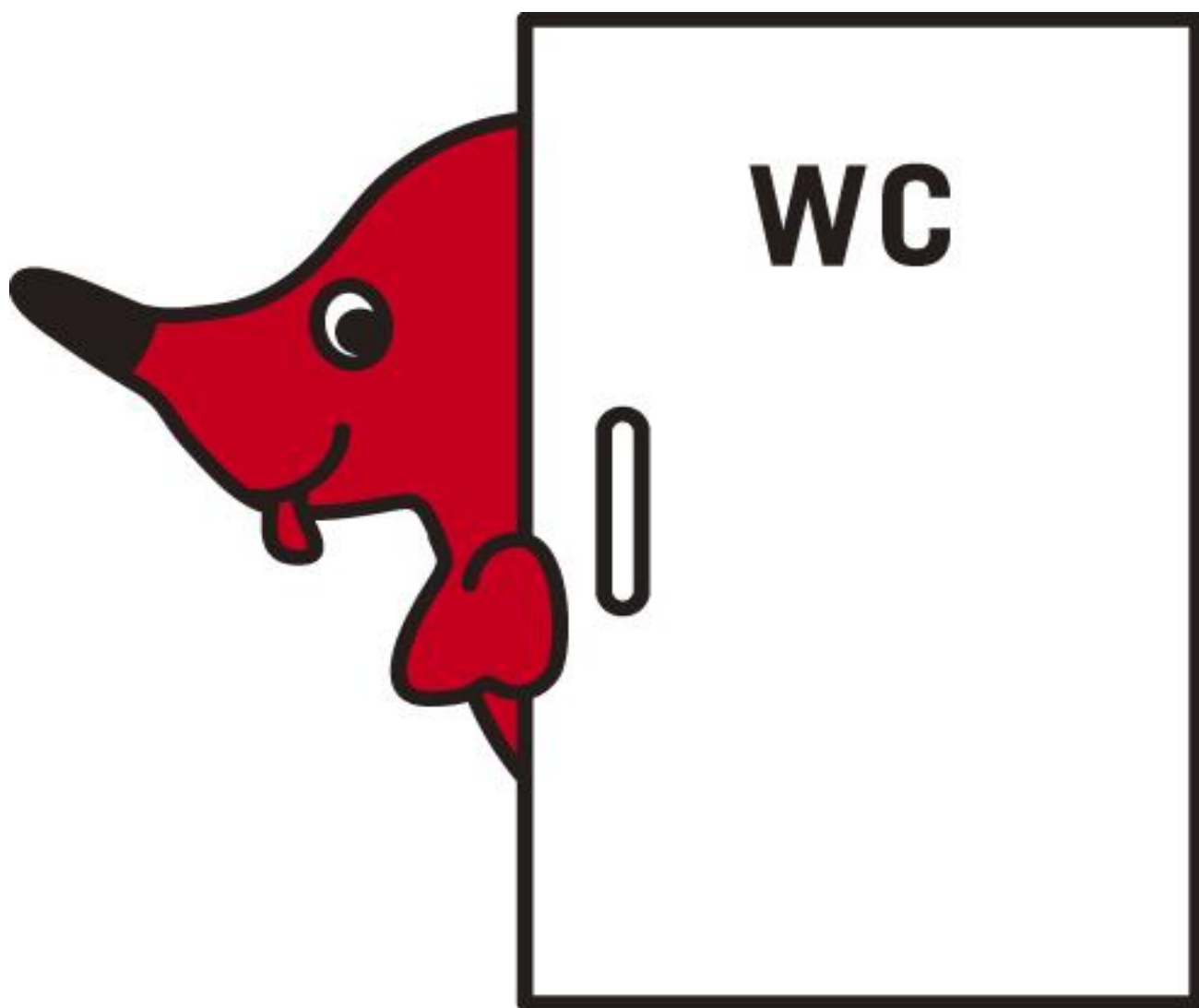


障害のある人が使いやすい公共トイレ
についての意見募集結果報告書
(中間とりまとめ)



平成23年3月
千葉県健康福祉部障害福祉課

目 次

はじめに	2
I 意見募集の内容及び応募者の概要	3
II 使いやすいトイレについての意見	4
1 視覚障害のある人からの意見	4
2 車いす使用の人からの意見	6
3 肢体不自由の人（車いす使用の人を除く）からの意見…	10
4 オストメイト（人工肛門又は人工膀胱保有者）からの 意見	12
5 その他の障害（聴覚障害、心臓機能障害、障害種別不明） のある人からの意見	14
6 障害のない人（障害のある人の家族・支援者を含む） からの意見	15
III 資料	17

はじめに

障害のある人が社会参加するために重要なことのひとつが、外出先で「使いやすいトイレ」が整備されているということです。逆に言えば、公共トイレが「使えない」、「使いにくい」ものであると、障害のある人は、外出や移動に大きな制約が生じ、社会参加が困難となります。

車いす使用の人、目の不自由な人、オストメイト（人工肛門又は人工膀胱保有者）など、障害のある人は、適切な配慮がないと、トイレを利用することが難しくなります。

そこで、障害のある人が使いやすいトイレにはどんな配慮や工夫が必要なのか、また、どうすれば使いやすいトイレが広まっていくのかなどについて、障害当事者や関係者の方々から広く意見を募集しました。

意見募集した結果は、現在詳細な分析検討を行っておりますが、現在までにまとまった、障害種別毎の「使いやすいトイレ」の中間まとめを発表いたします。

今回の調査は、障害当事者の生の声を聞くことに一番の重きを置きました。なかなか表に現れないトイレという密室での事柄であるので、なかなか回答しづらい部分もあったかと思われます。

また、当事者の方々の詳細な意見を聞く必要があると考え、アンケートは自由記述式として、希望や思いなどの記述を多くしました。このため、集計作業に予想以上に時間がかかり、とりまとめが遅くなってしまったことを深くお詫びいたします。

集計結果は、今後さらなる分析検討を行って、報告書としてとりまとめ、「障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり推進会議」に報告し、議論していただくとともに、関係機関へ送付するなどして、「障害のある人の使い勝手の良いトイレ」の千葉モデルを提案できればと考えています。

I 意見募集の内容及び応募者の概要

1 目的

車いす使用の人、目の不自由な人、オストメイト（人工肛門又は人工膀胱保有者）など、障害のある人にとって使いやすい公共トイレについての意見を募集し、結果を公表するとともに、関係機関へ送付し、障害のある人が使いやすい公共トイレの設置を推進する。

2 意見募集の内容

① 障害のある人が使いやすい公共トイレについての意見

使いやすかったトイレ、使いにくかったトイレ、使いやすいトイレの条件、多機能トイレの利用についての意見など。

② 障害のある人が使いやすい公共トイレを普及してためにどうしたらよいかについての意見

3 募集期間

平成22年6月1日から平成22年7月14日まで

4 応募方法

応募用紙に意見を記載し、郵送、FAX又は電子メールにより県障害福祉課へ送付していただく。

5 応募人数

156人から応募があった。内訳は以下のとおり。

障害の種類等	男性	女性	性別不明	合計
視覚障害	7人	10人		17人
聴覚障害	1人		1人	2人
車いす使用	34人	13人	9人	56人
肢体不自由（車いす使用者以外）	15人	8人		23人
オストメイト	11人	15人	1人	27人
内部障害（オストメイト以外）	3人	1人		4人
障害種別不明	2人	2人	1人	5人
障害なし	7人	12人	3人	22人
合計	80人	61人	15人	156人

Ⅱ 使いやすいトイレについての意見

1 視覚障害のある人からの意見

(1) 使いやすかったトイレの具体例

場所	使いやすかった理由
鉄道駅	音声案内がある、自動水洗。
大型商業施設	ペーパーの位置、水洗センサーの位置がとてもよい。蛇口、石けんもセンサー式で非常に使いやすい。
公共施設	広さが適当。
鉄道駅	男は青、女は赤、多機能は緑と表示が大きくわかりやすい。
鉄道駅	段差がなく、設置数も多い。
宿泊施設	ペーパーと水洗レバーの位置及び水洗方式が統一されている。

(2) 使いにくかったトイレの具体例

場所	使いにくかった理由
鉄道駅	(和式トイレに) 縁がないので(落ちてしまう事が)怖い。
鉄道駅	トイレに入る際、段差がある。
公共施設	薄暗い。水洗ボタンと緊急通報ボタンが隣り合わせで紛らわしい。
臨時の仮設トイレ	車いすで中に入ったら、ドアが閉められなかった。(ドアが内開きタイプ)

(3) 分析

視覚障害のある方は、多目的トイレより、一般のトイレを使用することが多いようである。

また、トイレ便器の形状に対して特段の配慮をするという視点よりも、トイレのある場所までの誘導のための点字ブロックの設置や音声案内の設置、またトイレの中(特に個室内)の配置状況について、ペーパーホルダーや水洗レバーの位置に、統一的な基準を設けて、配置状況をどのトイレを使っても同じにするとか、音声案内によって、どのような配置状況になっているかの情報提供などが重要であることがわかった。

(4) 使いやすいトイレの視点

- ① 音声案内などにより、トイレの場所がわかるようにする。
- ② 音声案内などにより、便房室（個室）内の便座の向きやペーパーホルダーの位置を案内する。
- ③ 水洗、蛇口、石鹸はセンサー式で、自動的に作動するタイプ。（ただし、その場合も、自動である旨の音声案内が必要）
- ④ 便房室（個室）内のペーパーホルダーや水洗レバーの配置が、全国统一基準になっていること
- ⑤ 段差がないこと。
- ⑥ 便房室（個室）の鍵は、横方向へスライドさせるタイプなど、操作が単純でわかりやすいもの。

2 車いす使用の人からの意見

(1) 使いやすかったトイレの具体例

場所	使いやすかった理由
大型商業施設	大型の車いすを入れても十分なスペースがあり移動しやすい。扉もしっかりしている。簡易ベッドがありオムツ交換ができた。手すりもある。
公共施設	車いすが回転できる、センサー式開閉ドア、車いすで使えるトイレが2つある（一般用車いすとオストメイト対応）、設計段階で当事者に相談があった。
大型商業施設	立ち上がりやすいように便器が上下前後する（前傾するので立ち上がりやすいが使い方の説明がないのでわからない人もいる）
大型娯楽施設	清潔で広々している、車いすでも入っても余裕があり大きなベッドが配置されていた。
病院	普通の洋式便器ではなく、40cmくらいの細長い便器は、そのまま前へ進み、車いすにも戻れる。
大型商業施設	中に大きなカーテンがありヘルパーが配慮しやすい。十分な広さがあり介助者が2人いても移乗しやすい。障害者用トイレが2つある。大人のオムツ交換のためのベンチがある。
病院	狭いスペースしかないが、広さに合わせた折りたたみ式のシートがあり、大人のオムツ交換ができる。
公共施設	出入口の幅が広く、トイレ内のスペースも広い。中にカーテンや簡易ベッドを設置してある。
公共施設	大人用ベッドがある。左の手すりが動く。自動ドアを外から閉められても中の照明が消えない。
病院	大きなトイレの中に種類の異なる個室（ベッドがある多機能トイレや車いすごと入り自分で用を足すトイレなど）が組み込まれている。
大型商業施設	車いす対応のトイレがたくさんあり設備も整っている。大きなベッドがあり、中も広く使いやすい。
病院	病棟・外来の全てのトイレが障害者用便器を使用。
高速道路のPA・SA	広くて安心。長いベンチがある。多機能であり、入口が一般トイレとは別になっている。

(2) 使いにくかったトイレの具体例

場所	使いにくかった理由
公共施設	使用中に体を動かすとセンサー式のため水が流れ、座っていると洋服が濡れる。
公共施設	狭く介助しにくい。非常用ベルと流水のスイッチが近くにあり間違っって押すおそれがある。
公共施設	トイレ内が狭く窮屈で、大型の電動車いすでは入れないのではないか。
高速道路S A	扉の開閉がセンサー式だが、使い方がわかりづらい。長時間使用していたら、中の明かりが消えてしまった。
公共施設	入口ドアがアコーディオン式。狭くて車いすが回転できない。手すりが固定式で使いにくい。便器の高さが低い。水洗ボタンが奥の壁にあり遠い。中に掃除道具入れの物置があり邪魔。
鉄道駅	段差がある。鍵がかかっているで駅員を呼びに行かないと開かない。ベッドがない。
公共施設	狭く車いすが入れない。自力で立てない人は使用できない。ドアがなくカーテンのみ。
公共施設	ドアがカーテンで使用する気になれない。
大型商業施設	壁ではない方の手すりが長過ぎて車いすがぶつかり、遠くに車いすを置かざるを得ない。
公共施設	身障用トイレのドアが重い。車いすに座ったままでは水洗レバーに手が届かなかった。
公園	管理上の問題なのか時々鍵がかかっている。トイレ内もゴミが散乱していて不衛生。
大型商業施設	車いす用トイレが男性トイレ内にあるので女性の介助者が入りにくい。通路も狭い。
鉄道駅	和式が多い。車いすで入りづらい（入れない）。大体便座の高さが低い。
病院	障害者用トイレはあるが、ベッドがない。 車いすとベッドが当たり、折りたたみのベッドを広げられなかった。

(3) 分析

車いすを使用される方は、障害者用（多目的）トイレを利用することが殆どである。

必須の条件として、電動車いすの利用でも、取り回しが十分取れるスペースの確保が重要である。

また、おむつの交換等の利用も考慮して、大人が利用できる強度と広さがあるベッドの設置も強く望まれる。

出入口の開閉や照明の点灯、水洗水流については、センサー式など自動のものが望ましいが、特に照明については、一定時間が経過すると、使用中であるにも関わらず自動消灯してしまったり、介助者が退室し外側から閉扉スイッチを操作することで、室内照明が消灯してしまう等、使い勝手の悪さの指摘が多くあった。

個人差があり、なかなか統一的な基準の設定は難しいと思われるが、「手洗い」「便座」「鏡」「手摺り」「開閉ボタン」「水洗センサー」の高さや配置位置などについて、適切な基準を設けて、標準的な使い勝手の良さを追求することが大切である。

また、荷物置き台や仕切りカーテンの設置など、健常者の意識では、なかなか気付き難い点についての提案があり、是非参考としたい。安全管理上の問題であると推察されるが、障害者用（多目的）トイレは、施錠されている場所が多く、都度管理者等に解錠をお願いするなど、やはり使い勝手の悪さを指摘する御意見が多かった。

(4) 使いやすいトイレの視点

- ① 障害者用（多目的）トイレの使用が殆どである。
- ② 十分な広さが確保され、段差がないこと。
- ③ 大人が横になっておむつ交換等が出来るベッドが設置されていること。
- ④ トイレのドアは、センサー式、電動式により自動開閉するものか、引き戸タイプで、僅かな力でも開閉できるものであること。
- ⑤ ドアの幅は、90CM以上あること。
- ⑥ 室内の照明は、自動センサー式が望ましい。しかし、一定時間を過ぎると自動消灯してしまったり、介助者が外のドア開閉スイッチで閉扉しても、消灯されないようにすること。

- ⑦ トイレットペーパーが上手く使用できない人もいるため、温水洗浄便座（乾燥機能付き）の設置が望ましい。
- ⑧ 「手洗い」は、簡易なものを便座近くにも設置するのが望ましい。
- ⑨ 内鍵は、手の力が弱くても、指1本程度の力で開閉出来るものが望ましい。
- ⑩ 水洗センサーと非常通報ボタンの位置関係が近く、形状も紛らわしいことから、設置には注意が必要。
- ⑪ 「手洗い」「温風式手指乾燥機」「便座」「鏡」「手摺り」の高さ、設置位置等が適切であること。
- ⑫ 介助の必要な人のプライバシーに配慮するために、室内に仕切りカーテンの設置が望ましい。
- ⑬ 荷物置き用の台が設置されていることが望ましい。
- ⑭ シャワースペースが設置されていることが望ましい。

3 肢体不自由のある人（車いす使用者を除く）からの意見

(1) 使いやすかったトイレの具体例

場所	使いやすかった理由
公共施設	清潔、広さや手すりの位置がよい、身障トイレの数が多い、段差がない。障害者が多く使用しており、評判は良い。
公共施設	ボタン式の自動ドア。広くいつもきれいに掃除されている。横になれるベッドがある。手洗い器も広くお湯が出る。大きな鏡がある。住民として自慢したくなるようなトイレ。
大型商業施設	壁収納の大人用ベッドがある。冷暖房完備。広い。床が濡れていないなど清潔に保たれている。
大型娯楽施設	冷暖房完備。広い。ベッド完備。清潔感がある。同じ場所に2箇所設けてある。
大型商業施設	スライドドア、自動洗浄、温水洗浄便座付きと清潔で気持ちがいい。
高速道路SA・PA	オストメイト対応。ベッド、手すり、温水洗浄便座、自動洗浄付き。複数箇所設置。清潔。

(2) 使いにくかったトイレの具体例

場所	使いにくかった理由
公共施設	全体的に狭く、水を流す際にゴムホースを使用する。
公園	ほとんどが和式であり、車いす使用者や下肢障害者は使用できない。
公共施設	ドアがアコーディオンカーテンで女性は絶対無理。バカにされているような虚しい気持ちになる。
高速道路SA	扉が重く開けることが1人ではできなかった。

(3) 分析

肢体不自由のある人（車いす使用者を除く）は、必ずしも障害者用（多目的）トイレを使うとは限らず、一般トイレでの配慮も必要になってくる。

例えば便器であるが、車いすを使用しないが、下肢障害のある方は、和式の便器では座って立ち上がることが困難である人もいるので、洋式便器の設置が望まれる。

暖房便座の設置を望む人もいるが、一方では、臀部の感覚麻痺によって低温火傷

の危険性も指摘されているので、トイレ内全体の空調設備の設置を望む声が多かった。

また、床が濡れていることで転倒の危険性があることや、手摺りが小便器や個室内には設置されているが、トイレの入り口から、トイレ内にかけての設置も必要であることが指摘されている。

特に建物内のトイレでは、トイレ用の内履きに履き替える必要のあるところもあるが、義足の方には不便であるので、配慮が必要な点である。

(4) 使いやすいトイレの視点

- ① 便器は、和式より洋式が良い（特に下肢障害）。
- ② トイレトペーパーが上手く使用できない人もいるため、温水洗浄便座（乾燥機能付き）の設置が望ましい（特に上肢障害）。
- ③ トイレの入り口で、内履きに履き替えないで済むような作りにする（特に、義足の方）。
- ④ 床が濡れておらず、転倒の危険がないこと。
- ⑤ 物置台やコート掛け、杖ホルダー等が設置されている。
- ⑥ 手摺りは、小便器前や個室だけでなく、トイレ入り口からトイレ内部にかけても、設置されていることが望ましい。
- ⑦ 着替えのため、床に直接立たなくて良いような、ステップボード等の設置が望ましい。

4 オストメイトの人からの意見

(1) 使いやすかったトイレの具体例

場所	使いやすかった理由
公共施設	温水シャワー付き、排便台が上下する。ジャワメイトの脇にある小児用ベッドがとても便利だが、水流が弱くいつも汚れている気がする。
大型商業施設	広さ、設備ともに快適。ドアが2ロックで安心。
公共施設	ジャワメイト設置。スチールの荷物置きも整備したが、施錠されて使えない時間帯がある。
病院	オストメイト便器あり。広い。きれい。シャワーがある。
公共施設	ジャワメイト設置。シャワー室があり、お湯が出る。鏡、棚、フック等オストメイトが必要な物が備えられている。立位でパウチを洗浄でき高さも調節できる。空調建物で裸になれる。ストマを湯で洗浄できる。
大型商業施設	ジャワメイト設置。鏡、棚、フック等オストメイトが必要なものが備えてある。間仕切りカーテンや、大きめの物置台もある。広さもあり、とても安心して使える。使いやすいが、6階にあるので不便。
公共施設	お湯が出る設備がある。
公共施設	汚物流し台式。ダブルフック、汚物入れ、収納式踏み台などオストメイトの要望を全面的に取り入れてくれた。

(2) 使いにくかったトイレの具体例

場所	使いにくかった理由
大型商業施設	排便口が小さく便が流れない。便を押し流すシステムもない。
鉄道駅	オストメイトマークが付いているが、膝を床につけて便器の中に手を入れて使うようで、これでは使えない。
公共施設	温水が出ない。(水で洗浄するとお腹が冷え下痢を起こすことがある。)
鉄道駅	オストメイト対応とあるが、温水洗浄便座の下向き型は、パウチすら洗えないただの迷惑トイレ。

(3) 分析

オストメイトの人は、オストメイト専用の機器が備わったトイレが必須になる。利用する方の身長に合わせて、便器（洗浄台）が上下するタイプのを望む声が多い一方、設備の管理上、故障する心配のない固定式タイプの設置が多い現実もある。

専用の機器の備わったトイレ（殆どが、障害者用（多目的）トイレ内に設置されている）の他に、一般の洋式便座に、簡易な洗浄ノズルを付けたタイプのものや、中には和式便器に洗浄ノズルを付けてあるため、利用者が膝まずいたり、便器の中に手を入れて洗浄するなど、衛生的に問題があるなど、オストメイトの人の利用実態をきちんと把握しないで、形だけの設置をしている例も散見される。

(4) 使いやすいトイレの視点

- ① 利用者の身長に合わせ、便器が昇降するタイプのものが良い。
- ② 温水シャワーが備わっていること。
- ③ 姿見、物置台、フック等が備わっていること。
- ④ 裸になる場合もあるので、空調設備が備わっていることが望ましい。
- ⑤ 石鹸やペーパータオルが備え付けられていると良い。

5 その他の障害（聴覚障害、心臓機能障害、障害種別不明）のある人からの意見

（1）使いやすかったトイレの具体例

場所	使いやすかった理由
公共施設	段差がない。広さ、手すり、ボタン・ペーパーホルダーの位置、ヘルプボタン等、スタンダードモデルと呼んでもいい。
大型商業施設	自動照明、自動水洗である。

（3）分析

聴覚障害、心臓機能障害等、その他の障害のある人は、その障害特性故に、特別な配慮が必要であるといった意見は聞かれなかった。

健常者が通常、トイレを使用する時に求める清潔さ、明るいこと、段差がないことや、荷物置場の設置など、一般的配慮を求める内容のものが多かった。

（4）使いやすいトイレの視点

- ① 段差がない。
- ② 衛生的であること。
- ③ 手荷物を置ける台やコート掛け等の設置が望ましい。

6 障害のない人（障害のある人の家族・支援者を含む）からの意見

（1）使いやすかったトイレの具体例

場所	使いやすかった理由
病院	大人が使用できるベッドがワンタッチで広げられ使用しやすい。
高速道路S A	障害者用駐車場の近くにトイレがあり、段差もなく、車いすなどが使いやすい。きれい。
病院	障害者用トイレ内に、カーテンのような仕切りがある。
高速道路S A・P A	広い。腰かける台があった。カーテンがあり、障害者を腰かけさせて自分も用が足せた。

（2）使いにくかったトイレの具体例

場所	使いにくかった理由
公共施設	大人用ベッドがないためオムツ交換できない。
鉄道駅	女子トイレ入口に車いす用トイレがあるので男性が使いにくい。照明スイッチが高い所にあり車いすでは使いにくい。
公共施設	狭い。ボタンの位置が悪い。便器が斜めに置いてあるので非常に使いにくい。
公園	デザイン優先のドアで開閉しづらい。
大型商業施設	呼び出しボタンの位置が低くて無意識に足にぶつかった。
大型商業施設	奥まった所にあって商品が置いてあることが多い。
公園	出入口の前に目隠しの塀があり、車いすでの出入りがしづらい。
病院	障害者用トイレが1階になく2階にある。

（3）分析

障害のない人（障害のある人の家族・支援者を含む）からの意見人は、介助を行う際の介助者の立場からのものが多かった。

障害者用トイレに対しての意見と思われるものでは、おむつ交換をするために、大人でも利用できる丈夫で十分な広さのあるベッドの設置や、手が不自由なために施錠できなかつたり、知的障害があるために施錠することを理解出来ない人が使用する場合に備えて、「使用中」であることが外からわかるような表示（表示ランプ等）の必要性、オートロックでないこと、荷物置き場があること、利用者のプライ

バシーを確保するために、介助者がトイレ室内に留まる状況を想定して、間仕切りカーテンの設置、緊急的な着替えのため、フィッティングボード*が設置されていないところでは、「バスマット」を用意しておいて、フィッティングボードの代用とすることで、直接トイレの床の上に立って着替えなくて済むなど、介助者視点での改善を指摘する意見が多かった。

また、一般トイレの使用を想定したものには、介助者が介助のために一時的に、個室の中に入って介助できるよう、一般トイレよりも少し広めのトイレの設置など、障害者用トイレが込んでいたりした場合に備えた対応についての意見もあった。

※ フィッティングボード・・子供の衣類交換やパンツタイプのオムツの交換の際に、トイレの床に直接足をつけずにすむように、引き出して使うステップ。大人の着替え等にも使用できる。

(4) 使いやすいトイレの視点

- ① 障害者用駐車スペースの近くに、障害者用トイレを設置するなど、アクセスに配慮があること。
- ② 障害者用トイレの中に、間仕切りのカーテンが設置されており、利用者のプライバシーが確保される。
- ③ おむつ交換等で利用できる大人も利用できるベッドが設置されている。
- ④ 女性用トイレの中に障害者用トイレがあり（または、その逆も）、異性の介護者が抵抗を感じることもある。
- ⑤ 障害者用トイレは、オートロックでないこと（施錠されてしまうと、用便が済んだあとに、介助者が外から入室出来ないことがある）。
- ⑥ 自閉症の子供などは、「センサー式自動水洗」に驚いてしまうこともある。